

# NHK金沢放送局長杯第39回石川県少年サッカー新人大会

## 大会要項(第1稿)

### 1. 主旨

この大会は、参加選手がサッカー競技を通じて身体を鍛え、リスペクトの精神を養い、強く正しくそして想像力豊かな人間の育成をするとともに、地域の親睦と交流を深めることを目的とする。

### 2. 主催

一般社団法人 石川県サッカー協会

### 3. 共催

NHK金沢放送局

### 4. 後援

北國新聞社

### 5. 協力

株式会社モルテン

### 6. 主管

石川県少年サッカー連盟

### 7. 日程

9月25日(日) 9:00～ 開会式、トーナメント(1・2回戦)(9:30～)

10月2日(日) 9:00～ トーナメント(1・2回戦)

10月8日(土) 9:00～ トーナメント(3回戦・準々決勝)

10月10日(月・祝) 10:00～ トーナメント(準決勝・決勝)、閉会式(15:00頃)

### 8. 会場

開会式及びトーナメント1・2回戦; 石川県営まめだ簡易グラウンドサッカー場(4面)

3回戦・準々決勝; 内灘町サッカー競技場(2面)

準決勝・決勝、閉会式; 金沢市営球技場(1面)

### 9. 参加資格

- (1) 参加チームは、大会実施年度に(公財)日本サッカー協会(以下「JFA」)第4種(女子を含む)に加盟登録したチームで、石川県少年サッカー連盟(以下「県少年連盟」)又は石川県女子サッカー連盟に加盟したチーム(以下「加盟チーム」)であること。また、上記チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
- (2) 上記チームに所属する小学5年生以下の選手で編成されており、JFA発行の登録選手証を有すること。
- (3) 参加チームを掌握指導する責任ある指導者(JFA公認コーチ資格D級コーチ以上)のいる小学生チームで、試合には、常時指導する責任ある指導者が同伴すること。(有資格者がベンチ入りをすることに心がけること。)
- (4) 試合には、4級以上の審判員を2人以上帯同し、責任ある審判を行うこと。(帯同審判の1名は、3級以上の審判員を帯同することを心がけること)
- (5) チームの責任者は、参加選手の保護者の同意を得ること。
- (6) 参加者は、必ず、スポーツ安全傷害保険に加入済みのこと。
- (7) ユニフォームは、異色のものを2着用意すること。
- (8) 1チームのエントリーの人数は、8人以上とするが、上限の制限はしない。

- (9) 複数チームの参加条件は、小学5年生がエントリーしていること。また、異なる引率指導者（コーチ）及び帯同審判員がいること。
- (10) 選手のエントリーの追加は、9月25日の開会式前まで大会本部に追加した選手を記載したエントリー表にて申し出た場合認める。但し、登録を完了している選手に限る。

## 10. 試合方法

- (1) 全チームによるトーナメントとする。
- (2) 棄権チームが出た場合、棄権チームを不戦敗とする。
- (3) トーナメントにおける3位決定戦は実施しない。

## 11. 競技規則

JFA 8人制サッカー競技規則による。(2016/2017 競技規則改正を適用する。)

但し、以下の項目については特に本大会用として大会規定を定める。

- (1) 試合時間は、前・後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は5分とする。
- (2) 試合の勝者を決定する方法（40分で勝敗が決しない場合）は、試合終了時に出場している3選手によりPK方式にて勝者を決定する。  
ただし、準決勝から10分（前後半5分）の延長を行い、決しない場合はPK方式を採用する。  
なお、延長戦に入る前のインターバルは、5分、PK方式に入る前のインターバルは、1分
- (3) 競技者の数は、8人（内1人はゴールキーパー（以下「GK」という。））とする。8人に満たない場合は試合を開始しない。（競技者が8人に満たない場合は、棄権とみなす。）ただし、その試合中にけが等による人数不足により8人に満たない場合には、そのまま続行するが、6人未満となった場合、棄権とみなす。
- (4) 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、主審、補助審判（第4の審判）の承諾を得る必要はない。（ゴールキーパーは除く。）退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。  
ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。  
（注）ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承諾を得た上でフィールドを離れてもよい。
- (5) 交代は、自由な交代とする。（一度退いた競技者も再び出場でき、何回でも交代可能とする。）
- (6) ベンチに入ることができる人数は、交代要員は人数制限しない、引率指導者3人とする。
- (7) キックオフから直接相手のゴールに入った場合、相手にゴールキックが与えられる。
- (8) 審判員は、主審1人、副審2人、第4の審判員（メンバー交代の確認等）1人の4人制とする。
- (9) 主審は、審判をする前に審判証（写真付）を本部で提示し、他の審判と試合内容を確認、審判後速やかに審判報告書（両チームのメンバー表添付）を作成後、本部に提出する。
- (10) ロスタイムの表示は、実施しない。
- (11) 反則と不正行為
  - (a) 警告・退場は、通常の競技規則に準ずる。
  - (b) 退場は、当該チームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
  - (c) 退席処分は、ベンチ（監督・コーチ）及びスタッフ、役員等が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
  - (d) 大会期間中、警告を通算2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、さらに、違法行為の内容によっては規律委員会において処置を決定する。
- (12) 飲水タイムは、天候により、採用する場合は大会本部から指示する。
- (13) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2人以内とする。
- (14) 登録選手証：本大会に参加する選手は、JFA発行した登録選手証を持参すること。（準決勝・決勝においては、登録選手証の提示をもとめることもある。）

- (15) ピッチサイズ : 縦 68m×横 50m、全てのラインの幅は同じで 12cm以下とする。  
 ペナルティエリア : ゴールライン上、ゴールポスト外側に 12m、その地点からゴールラインに直角 12m  
 ゴールエリア : ゴールライン上、ゴールポスト外側に 4m、その地点からゴールラインに直角 4m  
 センターサークル : 半径 7m                      ペナルティマーク : 8m  
 ペナルティーク : 半径 7m の半円弧  
 フリーキック時の壁との距離 : 7m
- (16) ゴールは、ゴールの内のり縦 2.15m、横 5m
- (17) ボールは、4号球(大会本部で準備する。)
- (18) フリーキックは、ボールがインプレーになるまで相手競技者は、7m以上ボールから離れる。
- (19) スローインは、相手競技者は、スローインが行われる地点から2m以上ボールから離れる。
- (20) コーナーキックは、ボールがインプレーになるまで相手競技者は、7m以上離れる。
- (21) グリーンカード制度を導入する。主審は、フェアプレー精神にあふれた行動やリスペクトある行動を取った競技者にグリーンカードを示す。グリーンカードは、試合開始前から試合中、また試合終了後であっても、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、示すことができる。
- (22) 装身具は、一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
- (23) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキングの3点の総称)は、(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程による。
- (a) 試合に際しては、大会参加申込の際に登録している正・副2組のユニフォームを持参する。
- (b) GKはユニフォーム着用を原則とするが、フィールドの競技者(以下、「FP」という。)がGKをする場合に限り、他の競技者や審判員と区別された色のシャツ又はビブス(選手番号付)着用でも可とする。
- (c) GKユニフォーム着用の選手がFPをする場合は、FPと同じユニフォーム(3点)を着用する。
- (d) ユニフォームにはチーム名・選手番号を必ず表示をするものとし、広告表示は認めない。また、シャツの前面・ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
- (e) アンダーシャツを着用する場合は、ユニフォームの袖の主たる色と同じ色(同系色認めない。)とする。また、ローカルルールとして白の単色のみ認める。  
 スパッツ・タイツの色は、パンツと同じ色とするが、白又は黒でチーム統一する場合は、ローカルルールとして認める。
- (f) ユニフォームに他のチーム(各国代表、プロクラブチーム等)のエンブレム等がついているものは着用できない。

## 12. 表彰

- 1位 賞状、優勝カップ(持ち回り)、優勝メダル(18人分)  
 2位 賞状、トロフィー、準優勝メダル(18人分)  
 3位 賞状、トロフィー、メダル(18人分)(2チーム)

なお、決勝進出の2チームは、「第22回北信越少年サッカー新人大会(JA全農杯チビリンピック2017小学生8人制サッカー北信越/予選)」(3ピリオド制、1・2ピリオド選手入れ替え、2017年3月18~19日(富山県開催予定))に出場する。

ただし、決勝進出チームの選手エントリー人数が16人未満の場合は繰り上げ出場チームを本部で決定する。

また、上位8チームは、来年度開催の「若葉旗争奪第33回石川県ジュニアサッカー大会」のシードチームの参考とするほか、「石川県少年サッカー連盟主管大会」を担当するものとする。

## 13. 経費

参加費 : 5,000円(各チームは抽選会(8月31日(水))のときに支払う。)

また、会場に至る往復の交通費及びその他大会参加に必要な経費は参加者負担とする。

## 14. 確認事項

- (1) 試合中に発生した負傷、疾病は各チームのスポーツ保険にて対処すること。  
 (2) 取り替え式ポイントシューズ及びアルミポイントシューズの使用を禁ずる。

- (3) 安全上、選手の眼鏡使用は禁止する。スポーツゴーグルを使用する場合は、エントリー表に記載して、試合当日のメンバーチェック時に本部の許可を受けたものに限る。
- (4) 大雨や落雷などの特別の場合を除き、雨天でも試合を決行する。(中止の決定は大会本部にて行う。)
- (5) チームのキャプテンは左腕にキャプテンマークをつける。
- (6) 出場選手は「すね当て」を着用すること。
- (7) 対戦する両チームのFP及びGKのユニフォームの色が同系色の場合は、メンバーチェック開始前に両チームで調整すること。
- (8) 各チームは試合ごとに、メンバー表を本部に提出し、本部横にてメンバーチェックを受けること。(メンバーチェックは、前の試合がキックオフされた直後(試合時間が空く場合は、40分前)に行う。)また、メンバーチェック後、当該試合の主審又は第4の審判は、本部に対戦する両チームのメンバー表を取りにくること。
- (9) 駐車に関しては、必ず指定の駐車場に入れ、これまでの確認事項を遵守すること。(駐車場担当の指示に従うこと)
- (10) 駐車場では、車のダッシュボードに所属チーム名を必ず表示すること。所属チームが不明の場合は、駐車場乗り入れを断る場合がある。
- (11) 若宮大橋の下及び会場周辺の道路などに、違法駐車は絶対しないこと。
- (12) 各チームで出したゴミ及びテント周辺にあったごみは必ず持ち帰って処理すること。

各会場で行う試合の結果は、速報で提供しています。

PCサイト: <<URL>><http://flex11goal.dip.jp/>

携帯サイト: <<URL>><http://flex11goal.dip.jp/m/>